

(1)空家の調査について

○平成28年度岬町空き家実態調査

調査対象空家数・・・1,839件

外観調査の結果・・・空き家891件、不明301件、居住中・その他使用中・除却済647件

空き家数・・・1,192件

(淡輪地区478件、深日地区349件、孝子地区28件、多奈川地区307件、不明21件)

空き家率・・・8.1%

(淡輪地区8.7%、深日地区11.4%、孝子地区5.4%、多奈川地区10.3%、不明0.8%)

建物老朽化度

	A判定	B判定	C判定	D判定
淡輪地区	118	266	95	3
深日地区	55	181	106	3
孝子地区	0	18	8	0
多奈川地区	53	141	103	8
不明	1	17	3	0

A判定:修繕がほとんど必要ない  
 B判定:当面の危険性はない  
 C判定:損傷が激しい  
 D判定:危険度が極めて高い

# 空家等対策事業にかかる課題について

## (2)空家等の適正管理をいかに推進するか

### 危険空家等に対する措置

- 法律に基づく指導等
- 解体費用の一部補助等

### 公衆衛生の悪化・景観の阻害等の生活環境への影響

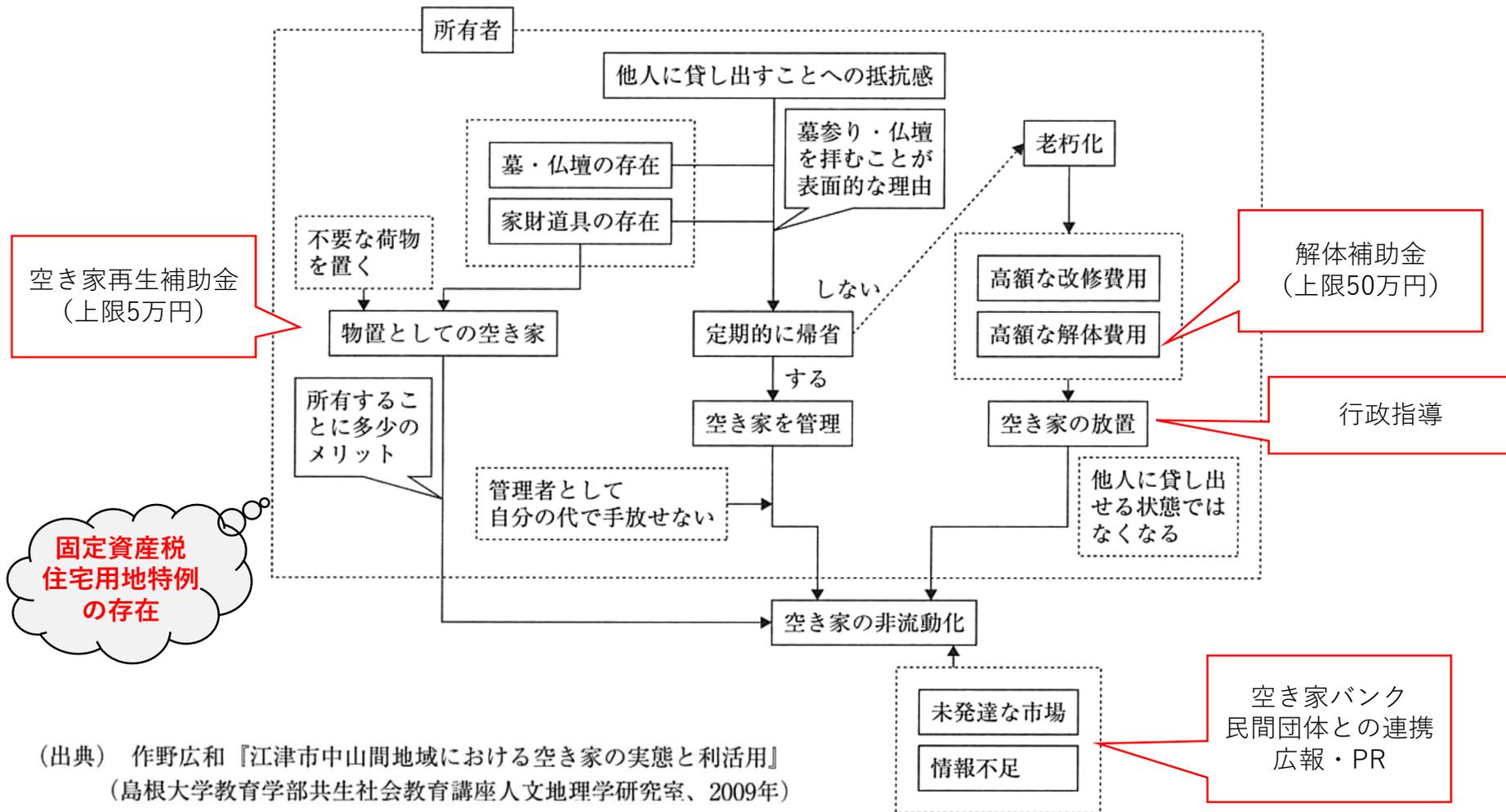
- 条例に基づく指導等



# 空家等対策事業にかかる課題について

## 空家等の適正管理をいかに推進するか

### 空家の非流動化要因と対応



(出典) 作野広和『江津市中山間地域における空き家の実態と利活用』  
(島根大学教育学部共生社会教育講座人文地理学研究室、2009年)